

観光まちづくりセミナー

広域観光の可能性について

国は「観光立国の復活」を掲げ、インバウンドのV字回復、地方における観光消費の拡大等に向けた施策強化を図っております。観光が地域経済をけん引し、好循環を促す産業とするためには、地域資源の掘り起こしが重要です。

本セミナーでは、誘客促進で成果をあげ、コロナ禍においても年間300万人が訪れる高尾山薬王院にて貫首を務める佐藤秀仁僧正をお招きし、高尾山観光の取り組みを紹介するとともに、広域観光の可能性を考えるきっかけとします。

2/29(木) 16:00 ~ 17:00

杜のホールはしもと
8階 多目的室 (相模原市緑区橋本 3-28-1)



対 象：相模原商工会議所会員事業所の経営者・従業員等
申込方法：WEB ページ申込フォームまたは裏面申込書



講演会

講師 大本山高尾山薬王院 中興第三十三世貫首

佐藤 秀仁 僧正

テーマ 人はなぜ高尾山を愛するのか
～高尾山観光の現在と未来～

プロフィール

正式名称「高尾山薬王院有喜寺」は今から1280余年前の天平16年(744)に、聖武天皇の勅令により東国鎮守の祈願寺として、高僧行基菩薩により開山。現在は真言宗智山派の大本山として「成田山新勝寺」「川崎大師平間寺」「高尾山薬王院」が三大本山として知られ、年間300万人が登山に訪れる高尾山を象徴する存在となっております。

その高尾山薬王院において、令和2年に27年ぶりの新貫首として就任した佐藤秀仁僧正は、大本山成田山勸学院を卒業後、高尾山薬王院に入山。「自坊」として八王子市狭間町の高榮寺で住職を務め、高尾山の歴史上、地元出身として初の山主として現在にいらします。

参加費 無料

定員 100名

主催 相模原商工会議所建設業部会・観光まちづくり委員会 (共催事業)

観 光 ま ち づ く り セ ミ ナ ー

広域観光の 可能性について

参加費 無料
定員 100名

2/29(木) 16:00 ~ 17:00

杜のホールはしもと 8階 多目的室
(相模原市緑区橋本3-28-1)

送付先：相模原商工会議所 産業振興課 行
F A X：042-753-7637
メー ル：sinkou@sagamihara-cci.or.jp



年 月 日

会社名

氏 名

連絡先（携帯電話等）

※複数名の場合は氏名欄に簡条書きでご記載ください

